

長野俊英高等学校【全日制】

令和6年度 第一回 学校評議員会 報告

出席者

◇学校評議員 6名

◇本校職員 8名

◇日程・内容

- ①委嘱状交付
- ②学校からの現状説明
- ③授業参観&校内視察
- ④意見交換
- ⑤閉会挨拶

令和6年度第1回学校評議員会意見交換会

学識関係者委員より

大学も高校も同じような悩みを抱えており、お互いに支え合うことができるとよい。

情報リテラシー、正しい情報を掴んでいくということが大切であり、その根幹部分を高校のうちに確立する必要がある。時代の流れである「探究学習」については、興味関心を広げ幅広く進路を考えるという意味でも大切である

篠ノ井駅前商店街委員より

学校評価アンケートには建設的な意見が多く、アンケートの行い方が良い。

留学の取り組みは素晴らしいこと。多くの人に知ってもらいたい。

地元イベントに俊英生が活発に参加してくれて、関係性ができていてありがたい。礼儀正しく、一生懸命やっている、楽しそうにやっているなどという高評価が多い。

卒業しても地域と繋がっていただけるとありがたい。

篠ノ井地域でもあいさつ運動を実施しており、ダンス部や軽音楽部が参加してくれている。ボランティアにも積極的に参加してくれている。

中学校の部活動問題が深刻で部活がなくなると、運動・文化経験者が減る。社会的な取り組みもしてくれとありがたい。

篠ノ井地域住民代表委員より

活発な活動が目立ち、あちこちでいろいろな取り組みをしている。他の高校にはない取り組みをしているのではないか。さらに伸びていくと期待している。

この学校から地域貢献できる人材が輩出されることを期待している。

御幣川住民代表委員より

高校に来ることはあまりないので、高校とはこうなのだと知ることができた。

地元にこのような学校があることが素晴らしく、感激している。

御幣川に開かれた俊英高校になっている。もっともっと PR してほしい。

前 PTA 会長より

高校を決める際、学校選びは他校との比較から始まる。その中で俊英は向上効果があると感じた。私立だからこそできることもある。

留学はお金や留学先での生活がネックになる。調べれば調べるだけ無理ではないかと思ってしまうが、やはり『経験』が大切である。

先生方がこれからの学校についてよく考えていることが伝わってきた。

PR活動を積極的に行ってほしい。

同窓会長より

野球部の生徒が脱帽して、しっかりとあいさつしてくれる。人と人との最初の関係性は「あいさつ」で評価される。笑顔であいさつできることは素晴らしいこと。

今は野球部が注目されるが、その後他の生徒にも注目が集まるようになる。

同窓会としても組織をしっかりとしようとする取り組みはしているものの、なかなか集まらないのが現状。

昔と変わっていないことは先生たちの生徒に対する情熱。同窓会長として応援したい。